

「省エネコミュニケーション・ランキング制度」 ガス・電気小売事業の両部門で 最高評価（5つ星）を3年連続で獲得

2024年2月6日

北海道ガス株式会社



北ガスの省エネサービス（ガス・電気）



会員制 Web サイト（2017年4月～サービス開始）

Tag Tag

TagTagが提供する省エネサービスの特長



エネルギー使用状況の見える化



エネルギー分析と省エネアドバイス



お客さまとの省エネコミュニケーション



省エネコミュニケーション
ランキング制度



経済産業省資源エネルギー庁が実施

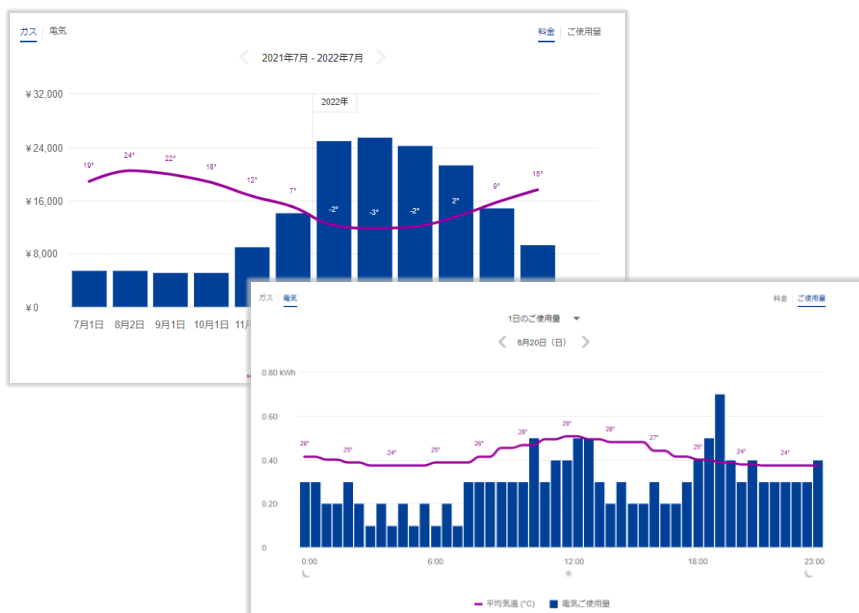
エネルギー事業者による省エネ情報提供・サービスの評価制度

北ガスは2部門（ガス・電気小売事業者）で最高評価（五つ星）を獲得

特長 | エネルギー使用状況の見える化

使用量・料金グラフ

ガスと電気の使用量と料金、気温情報が確認可能



過去料金との比較

料金が変わった理由を推測し、表示



省エネのコツ

日常生活での工夫によるエネルギーの使用削減量・節約金額の目安を表示
「実践済み」「お気に入り」のコツを保存可能



セントラルヒーティングで人がいない部屋の温度設定を下げる

年間最大1,500円の節約

👤 509世帯が実践しています



暖房は必要な時だけつける

年間最大2,500円の節約

👤 558世帯が実践しています



暖房の使用時間を1時間短くする

年間最大2,500円の節約

👤 350世帯が実践しています



就寝時や外出前は暖房のスイッチを早めに切る

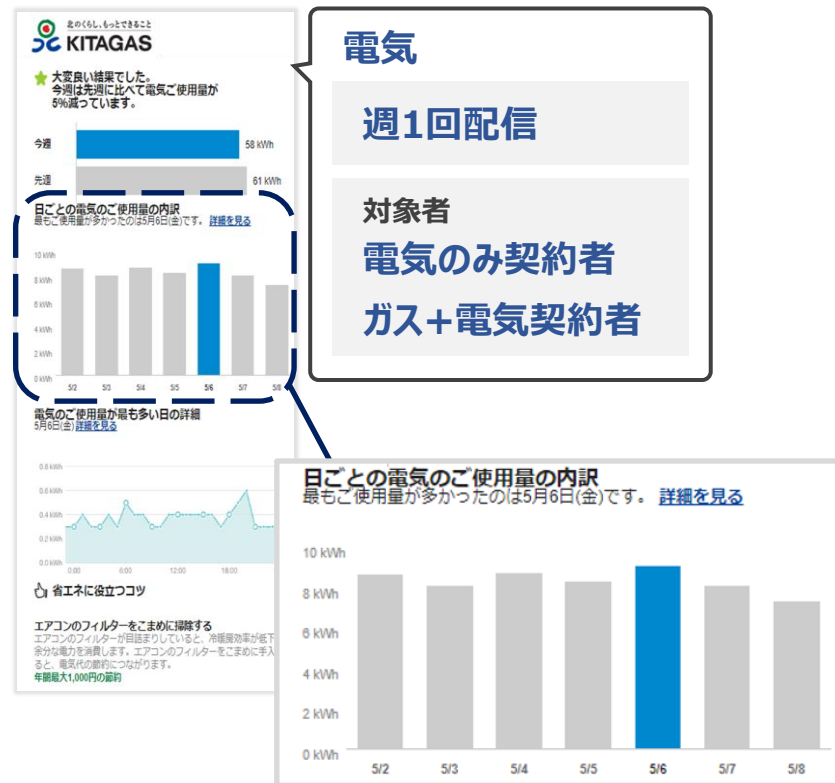
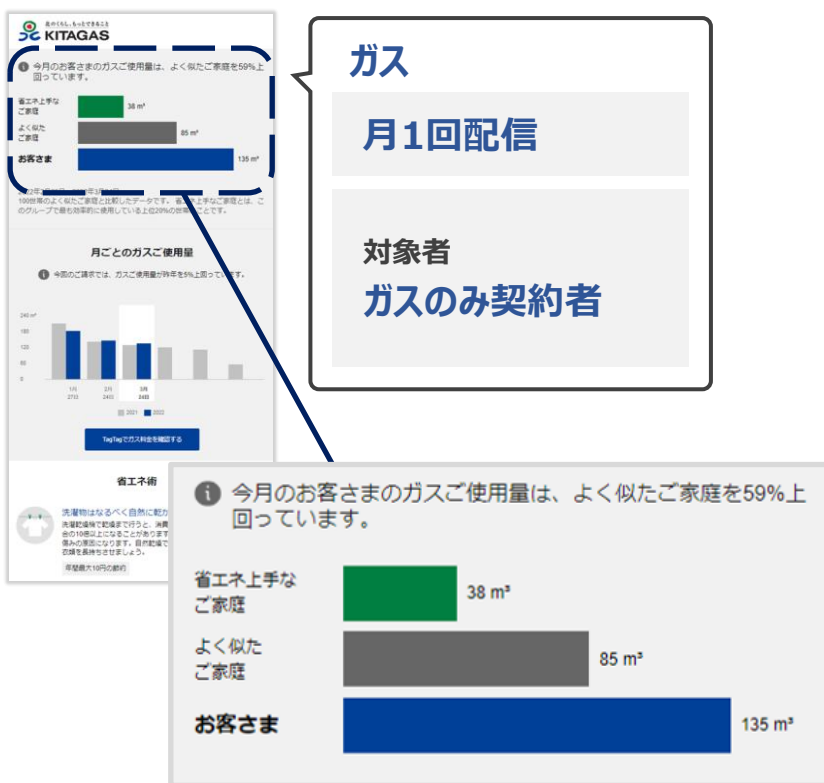
年間最大2,500円の節約

👤 455世帯が実践しています

特長 | エネルギー分析と省エネアドバイス

省エネレポートメール

行動の記憶があるうちに振り返りができるよう、メールでエネルギーの使用状況をお知らせ



デマンドレスポンス

お客様まに節電を促し、ピーク時の電力消費を抑え、電力の安定供給を図る

(事例) 2022年度北ガス節電キャンペーン

- 全国的な電力需給ひっ迫の懸念から、国・北海道の補助事業として、「TagTag」を活用したデマンドレスポンスを実施（2022年12月～2023年3月）
- キャンペーンへの参加特典および当社が指定する時間帯の節電量に応じた特典として、北ガスポイントを進呈

多くのお客様まが節電に参加。省エネ意識の醸成や電力需給の最適化に貢献

お申し込み

約**39,000**件

対象となる「TagTag」会員の38%



※1

累計節電量

約**68,000**kWh

杉の木 約2,300本の
年間CO₂吸収量に相当



※2

満足度

94%

「節電意識が高まった」の声多数



※3

※1:「北ガスの電気」をご契約のTagTag会員
※2:節電に成功した時間(30分単位)の節電量の累計
(節電量計算方法:high4of5(当日調整有り))
※3:参加者アンケートによる「満足」「やや満足」の回答

今年度新たに対応した項目

ダブル 北ガスのW発電ソーラーサービスの情報提供

お客さまが非化石エネルギーへ転換するのに資する情報として、2023年度より「TagTag」で「北ガスのW発電ソーラーサービス」の情報提供を開始



TagTagにバナーを設置



太陽光発電とガスマイホーム発電（エネファームまたはコレモ）の2つで発電する仕組み

太陽光発電の設置は北ガスが補助し、太陽光発電した電気のうち、自家使用分の余りを電力会社に販売し、その売電収入を10年間北ガスに納入していただく

W発電により、従来型の給湯暖房機と比較して年間約8万円の光熱費が削減可能



デマンドレスポンスサービス

電気・ガスの節約キャンペーンを実施

「北ガス 節電キャンペーン」 (第1回：2022年12月～2023年3月)

第2回：2023年12月～2024年2月)

「冬のガス省エネキャンペーン」(2023年1月～3月)

「TagTag」を通じて情報発信

お客さまの使用状況を分析し、お客さま毎の個別の省エネアドバイスを提供

EMINEL



家庭用エネルギーマネジメントシステム「EMINEL」

マルチセンサーでの計測に基づき暖房を自動で省エネコントロール

タブレットやアプリを通じて、省エネアドバイスやエネルギーの見える化を提供

地域エネルギーマネジメントシステム (CEMS)

地域住民参加型のデマンドレスポンスや、省エネアドバイスの通知を通じて、街区一帯のエネルギーを省エネコントロール

エネルギーの需要予測やピークシフトにより、設備の最適運転を実現



46エネルギーセンター
(2019年4月～)



新さっぽろエネルギーセンター
(2022年6月～)

北ガスグループでは、2050年のカーボンニュートラル社会実現を見据え、中間点・2030年までの経営計画「Challenge 2030」に取り組んでいます。

Challenge 2030 6つのチャレンジ



省エネを基盤としてあらゆる手段、可能性を探りながら、脱炭素社会への備えを進めていきます



情報プラットフォームの構築により省エネの定量化と価値化を図り、量の拡大に依存しない価値創造型の事業基盤を構築していきます



地域資源の活用に北ガスグループの総力をあげて取り組み、全道への展開と新たな事業の可能性を追求していきます



非効率・不合理なものを排除し、DXを最大限活用、機能させ、業務改革を遂行していきます



次代を担う人材として実践的で高度な専門家集団等、北ガスグループ全体での人材育成を推進していきます

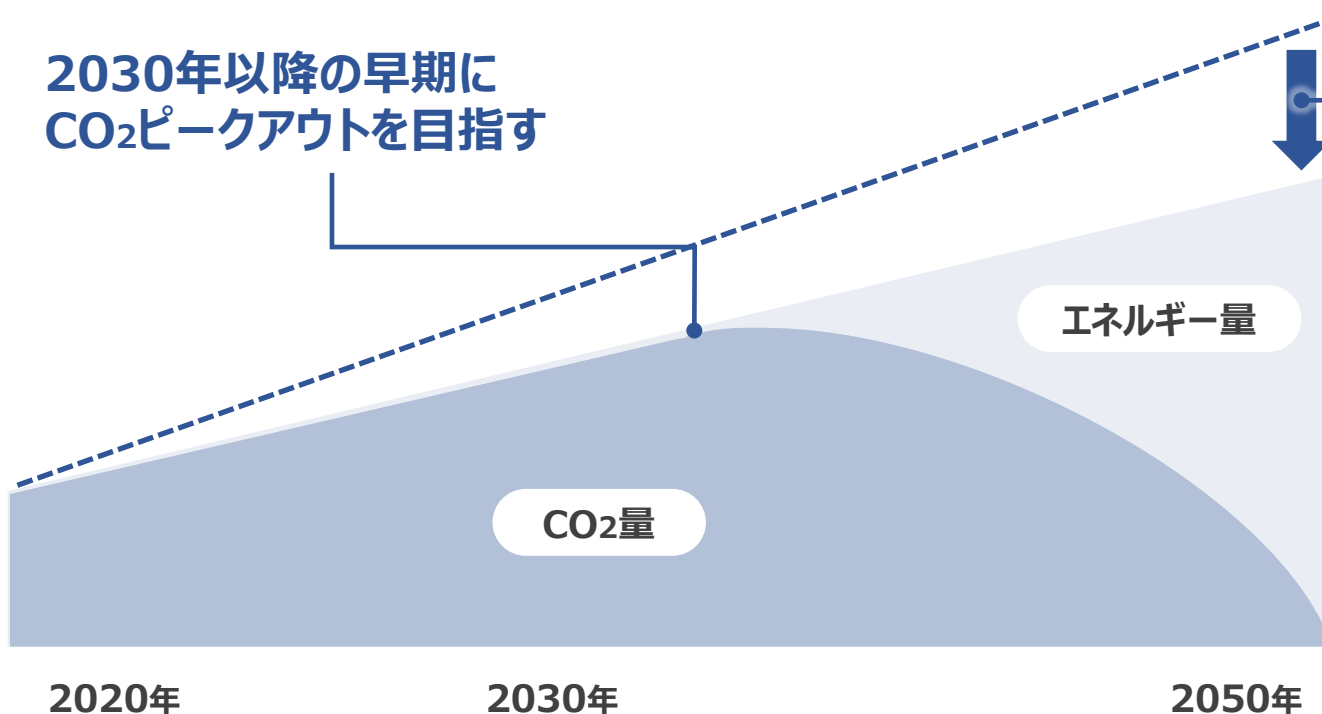


社会の急激な変化や災害等に迅速・柔軟に対応できるよう、DXの活用により意思決定の迅速化を図っていきます

参考 | 北ガスグループ°経営計画

総合エネルギーサービス事業の進化による機能的な省エネ、再生可能エネルギーのさらなる拡大などによりCO₂の削減を進め、あらゆる可能性を探り脱炭素社会への備えを進めていきます。

2030年以降の早期に
CO₂ピークアウトを目指す



省エネによる
エネルギー量削減

- ・再生可能エネルギー
- ・カーボンニュートラルメタン
- ・水素
- ・CCUS・CCS (CO₂回収・貯留・活用技術)
- ・CO₂クレジット
- ・森林吸収 等

価値創造型事業基盤構築期

脱炭素への取り組み拡大期

事業成長を図りながら
脱炭素社会への備えを
進めていく

2030年までの取り組み

- ✓ 総合エネルギーサービス事業の進化による分散型社会の形成
- ✓ カーボンニュートラルへの挑戦
- ✓ デジタル技術の活用による事業構造変革

情報プラットフォームを活用した事業構造変革

- ・あらゆる情報を高度に連携、エネルギーの需要と供給を最適化
- ・業務プロセスを抜本的に変革し、高付加価値型の強固な事業基盤を構築

